

# アルコール・ハラスメント(アルハラ)とは

2012年5月、道内の大学で飲酒により学生の尊い命が失われました。

また本学でも過去に飲酒が原因で学生が亡くなっています。

過度な飲酒が命の問題に直結することは明らかです。

それにも関わらず、先日授業でアルコール・ハラスメント(アルハラ)の話をしたところ、多くの学生から

「うちの部活やサークルでは一気飲みやコールをかけることが行われている」

「飲むのを断りたくても、雰囲気が悪くなると困るので断れない」などの感想がたくさん届きました。

そこでもう一度ここでアルハラとは何か、

安全に楽しくお酒を飲むにはどうすれば良いかをまとめてみたいと思います。

まず、アルハラとはなんでしょう？  
「一気飲み・アルハラ防止」(<http://www.ask.or.jp/ikkialhara.html>)によりますと、アルハラの実義5項目は以下の通りです(抜粋、以下同様)。

## アルハラの実義

- ① 飲酒の強要。
- ② イッキ飲ませ。
- ③ 意図的な酔いつぶし。
- ④ 飲めない人への配慮を欠くこと。  
例) 酒類しか用意しない。
- ⑤ 酔った上での迷惑行為。  
例) 暴言、暴力、セクハラ。

いかがでしょうか？ あなたはこのようなことをされた経験はありませんか？もし今もされているなら、これ以上我慢せずに誰かに相談しましょう。もし自分がしていると思ったら、相手はどんな気持ちなのか考えてみてください。さらにもし相手が亡くなったら、ご家族やあなたを含む周囲の人がどれほどの苦しみを味わうことになるのか想像してください。

次に、同ホームページによると、死者が出た飲み会の状況は以下のようなものです。

## 死者が出た飲み会の状況

- ① 学生の日常の中に、「吐くこと」「酔いつぶれること」を前提とする危険な飲み会が存在している。
- ② 場の盛り上がりや、上下関係による暗黙の強要(アルハラ)がある。とくに、卒業・新歓コンパ、合宿、寮ではその傾向が強くなる。
- ③ 未成年の飲酒が公然となっていて、1年生はアルハラターゲットになっている。

- ④ 酔いつぶれた者を放置する状況がよく見受けられる。救急車を呼ぶのを躊躇し、手遅れになってしまう。
- ⑤ 学生の自治ということで大学は管理体制をとりやすく、教育的対応も十分でない。

いかがでしょうか？ あなたの参加している飲み会がこれらの状況に似ているならば、本当に危険な状態です。あなたが上級生なら下級生を守ってあげてください。

安心してお酒を楽しみたいならば、次の「飲み会主催者・参加者5つの責任」(同ホームページより)を守るように心がけてください。

## 飲み会主催者・参加者5つの責任

- ① アルハラをなくすこと。
- ② 吐く人を出さないこと。
- ③ 酔いつぶれた人が出たら、介抱し、保護すること。

- ④ 未成年者に飲酒させないこと。
- ⑤ 車を運転する予定の人に飲酒させないこと。

特に酔いつぶれた人を放置すると、吐いた物をのどに詰まらせて窒息死する危険がありますので気をつけてください。

いかがでしょうか？ そんなこと言われなくてもわかっているけれど、自分ではどうしようもないんだと思った人へ。今すぐ指導教員、学生なんでも相談室、人権相談員、ホケカンへ相談してください。一人で解決できなくても、相談すれば道は開けます。

この文章を読んだ学生の皆さんはもう一度飲酒について考え直してください。先生方は身近な学生が安全に飲酒しているかどうか、今一度ご配慮をお願いいたします。

(保健管理センター・カウンセラー・三上 謙一)

